

2014 年 2 月 20 日

モーショコミックの事業化を推進する 株式会社ニューへの出資を決定

株式会社産業革新機構（以下「INCJ」）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：能見公一）は、動画作成ツールを核にモーショコミックの制作・配信等を営む株式会社ニュー（以下「ニュー」）（本社：東京都千代田区、代表取締役：武藤伸之）の第三者割当増資を引き受け、モーショコミックの制作や海外への事業展開等の今後の成長資金として9億円を上限とする出資を行うことを決定しました。

これまでの動画作成においては、巨額な投資を要する商業アニメーションの制作決定に委ねるか、習熟に相当の時間とコストを要する制作ツールを活用することが一般的でした。一方、商業アニメーション等においては、より少ない投資で動画を配信するニーズ、クリエイターや権利者等においては、世界的にユーザー層が広い動画メディアによるコンテンツを配信するニーズが高まっておりました。日本国内にはクオリティの高いコミック等のコンテンツが豊富に存在しますが、これまで海外需要の取り込みは限定的なものでした。通信環境の整備によりインターネットを通じた動画視聴数が拡大する中、全く新しいメディアであるモーショコミック*へのニーズも高まると予想されます。

* モーショコミックとは、コミックの静止画像を組み合わせて制作された動画コンテンツ。アニメーション程の自由度はないものの、コミック作家の描いた絵がそのまま動く為、コミックの魅力がダイレクトに伝わるという特徴を持つ。

モーショコミックの制作に当たっては、従来あらゆる映像加工に対応する高度な機能を備えたツールと、高度な習熟を経た技術者の活用が必要であったことから、供給量は限定的でした。ニューは、簡易に動画を作成できるツールを開発し、既存のコミック、絵本、教材等のコンテンツを容易に動画に作り変えることを可能にしました。また、クリエイター自らがモーショコミックのオリジナルコンテンツを創作することも可能となります。

ニューはこれまで複数の民間ベンチャーキャピタルや事業会社より資金提供やサポートを受け、モーショコミックの制作を行ってきました。INCJ は、現ステークホルダーと共同し、事業活動をより加速させるべく新たに成長資金を提供します。また、成長資金の提供を通じ、コミックなど日本のコンテンツの海外配信の拡大、ひいてはクリエイティブ産業の拡大再生産に貢献することを目指します。

株式会社ニューについて

設立	2012 年 5 月
事業内容	動画作成ツールを核としたモーショコミックの制作・配信等
本社所在地	東京都千代田区
代表取締役	武藤 伸之（むとう のぶゆき）

株式会社産業革新機構（INCJ）について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

INCJ では、これまでに合計 58 件・総額約 7,000 億円の投資決定を発表しました。当面、環境エネルギーにも関連するエレクトロニクスや IT の分野、バイオ・ライフサイエンス分野、水ビジネス等インフラ関連分野などにおいて、知財ファンドによる先端的な基礎技術の事業展開、ベンチャー企業等の事業拡大、技術等を核とした事業の再編・統合、海外企業の買収等による積極的な海外展開などに対してハンズオン投資を行ってまいります。

（本発表資料のお問い合わせ先）

（株）産業革新機構 企画調整室 伊藤・望月・畑
東京都千代田区丸の内 1－4－1
丸の内永楽ビルディング 21 階
電 話：03－5218－7200（大代表）